



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場会社名 虹技株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5603 URL http://www.kogi.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 幹雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221
 四半期報告書提出予定日 2020年8月6日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,235	△22.5	80	△57.9	91	△46.3	15	△86.5
2020年3月期第1四半期	5,465	△2.0	192	△36.9	169	△45.3	112	△34.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 138百万円 (70.4%) 2020年3月期第1四半期 81百万円 (△46.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	4.60	—
2020年3月期第1四半期	34.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	25,645	12,439	39.5	3,058.53
2020年3月期	26,720	12,466	37.8	3,047.91

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 10,137百万円 2020年3月期 10,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	8,500	△23.1	△30	—	△80	—	△170	—	△51.29
通期	17,500	△17.7	△260	—	△370	—	△400	—	△120.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	3,362,163株	2020年3月期	3,362,163株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	47,809株	2020年3月期	47,809株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	3,314,354株	2020年3月期1Q	3,314,411株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により各国経済が減速する中、国内でも緊急事態宣言発令により経済活動が大きく停滞し、緊急事態宣言の解除後は段階的に経済活動を再開しつつあるものの新型コロナウイルスの第2波到来等、引き続き先行きは不透明な状況となっております。

このような状況のもとで当社グループは、当社の技術を活かした個別製品においての一層の販売力強化や原価低減、生産性の向上に努めてまいりました。また、2019年度を初年度とする『誇り』をキーワードとした第6次3カ年計画を推進し、既存事業の収益構造の改革や新たな分野の開拓、新しい製品の開発、財務体質の更なる強化などの取組みを進めてまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が鉄鋼や自動車、産業機械分野などに大きく波及したことにより、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高 42億3千5百万円（前年同期比 22.5%減）、営業利益 8千万円（前年同期比 57.9%減）、経常利益 9千1百万円（前年同期比 46.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益 1千5百万円（前年同期比 86.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 鋳物関連事業

鋳型は、高付加価値製品の受注に努めましたが、エネルギーおよび造船関連の外部環境は低調で鍛造鋼塊用鋳型は低迷し、自動車および航空機関連の外部環境の悪化により特殊鋼用鋳型の需要は減少し、売上高は、前年同期並みで推移しました。ロールは、主要顧客先の国内高炉メーカーの需要減少により、売上高は、前年同期を下回りました。自動車用プレス金型鋳物は、新車開発の延期や凍結が相次ぎ、売上高は、前年同期を下回りました。大型産業機械用鋳物は、工作機械向けや鍛圧機械向けが低迷し、売上高は、前年同期を下回りました。小型鋳物は、下水道鉄蓋の受注拡大に努めましたが、電線共同溝用鉄蓋における工事着工のずれ込みや機械鋳物の減少により、売上高は、前年同期を下回りました。デンスパーは、油圧機器や建設機械など各主要業界向けの需要減速を受け、売上高は、前年同期を下回りました。海外事業の天津虹岡鋳鋼有限公司、南通虹岡鋳鋼有限公司は、中国経済の減速や競合の激化により、売上高は、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、37億3千3百万円（前年同期比 20.7%減）、セグメント利益 1億3千3百万円（前年同期比 34.2%減）となりました。

② 環境関連事業

環境装置事業は、大口案件やメンテナンス工事の受注件数が減少し、売上高は、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、5千8百万円（前年同期比 60.8%減）、セグメント損失 2千9百万円（前年同期はセグメント損失 4千3百万円）となりました。

② その他の事業

送風機は、民間設備投資の縮小の影響を受け、厳しい受注環境となり、売上高は、前年同期を下回りました。環境・省エネ商品のトランスバクターは、大口受注があったものの、鉄鋼業界の落ち込みによる鉄鋼関連向けの需要減少により、売上高は、前年同期並みで推移しました。KCメタルファイバーおよびKCカーボンセラミックスは、自動車産業の低迷により需要が減少し、売上高は、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、4億4千2百万円（前年同期比 27.3%減）、セグメント利益 3千5百万円（前年同期比 52.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、136億5千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億8千4百万円減少いたしました。これは、主として環境関連事業大型案件の回収が進んだことなどにより受取手形及び売掛金が16億2百万円減少したことなどによります。

固定資産は、119億9千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億9百万円増加いたしました。

これは、主として投資有価証券が3億2千6百万円、有形固定資産が2億8千5百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、256億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億7千5百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、96億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億6千8百万円減少いたしました。これは、主として短期借入金が7億8千5百万円、支払手形及び買掛金が3億7千4百万円減少したことなどによります。

固定負債は、36億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2千万円増加いたしました。これは、主として繰延税金負債が1億7千6百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、132億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億4千8百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、124億3千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ2千6百万円減少いたしました。

この結果、総資産が減少したことにより、自己資本比率は、前連結会計年度末の37.8%から39.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による事業活動への影響を合理的に算出することが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算出いたしました。

詳細につきましては、本日(2020年7月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により、実際の業績が大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,118	2,095
受取手形及び売掛金	8,177	6,575
電子記録債権	1,443	1,363
商品及び製品	1,161	1,249
仕掛品	1,202	1,255
原材料及び貯蔵品	928	874
その他	396	348
貸倒引当金	△90	△109
流動資産合計	15,337	13,653
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,916	2,877
機械装置及び運搬具(純額)	3,975	3,929
土地	1,220	1,220
その他(純額)	1,350	1,722
有形固定資産合計	9,464	9,749
無形固定資産	218	215
投資その他の資産		
投資有価証券	1,567	1,894
その他	131	131
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,699	2,026
固定資産合計	11,382	11,991
資産合計	26,720	25,645

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,588	3,214
短期借入金	4,681	3,895
未払法人税等	23	12
賞与引当金	277	92
その他	2,200	2,386
流動負債合計	10,770	9,601
固定負債		
長期借入金	2,971	2,870
繰延税金負債	139	316
退職給付に係る負債	351	388
その他	21	29
固定負債合計	3,483	3,604
負債合計	14,254	13,205
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	602	602
利益剰余金	7,213	7,063
自己株式	△55	△55
株主資本合計	9,763	9,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	383	614
繰延ヘッジ損益	△1	△1
為替換算調整勘定	77	19
退職給付に係る調整累計額	△120	△107
その他の包括利益累計額合計	338	524
非支配株主持分	2,364	2,302
純資産合計	12,466	12,439
負債純資産合計	26,720	25,645

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	5,465	4,235
売上原価	4,582	3,544
売上総利益	883	690
販売費及び一般管理費	691	609
営業利益	192	80
営業外収益		
受取利息及び配当金	26	25
受取保険金	—	11
雇用調整助成金	—	11
その他	5	5
営業外収益合計	32	54
営業外費用		
支払利息	37	31
その他	18	12
営業外費用合計	55	43
経常利益	169	91
特別利益		
投資有価証券売却益	33	—
特別利益合計	33	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2
特別損失合計	—	2
税金等調整前四半期純利益	203	88
法人税、住民税及び事業税	14	6
法人税等調整額	44	73
法人税等合計	59	79
四半期純利益	144	8
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	31	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益	112	15

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	144	8
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△147	231
繰延ヘッジ損益	1	△0
為替換算調整勘定	109	△113
退職給付に係る調整額	△25	12
その他の包括利益合計	△62	130
四半期包括利益	81	138
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3	200
非支配株主に係る四半期包括利益	84	△61

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大は、現在においても継続しており、当社グループの事業活動にも一定の影響を及ぼしております。当社グループは、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響を当該会計上の見積りに反映するにあたり、主として次のような仮定を置いております。当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響が、2021年3月期の一定期間にわたり継続するものと想定しております。

なお、現在の状況及び入手可能な情報に基づき、合理的と考えられる見積りおよび判断を行っておりますが、新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期等の見積りには不確実性が伴うため、実際の結果はこれらの見積りと異なる場合があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鋳物 関連事業	環境 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,706	149	4,856	609	5,465	—	5,465
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	0	0	△0	—
計	4,706	149	4,856	610	5,466	△0	5,465
セグメント利益 又は損失(△)	202	△43	159	74	234	△64	169

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△64百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△77百万円、営業外収益が30百万円、営業外費用が△18百万円含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鋳物 関連事業	環境 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,733	58	3,792	442	4,235	—	4,235
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	19	19	△19	—
計	3,733	58	3,792	462	4,254	△19	4,235
セグメント利益 又は損失(△)	133	△29	103	35	138	△47	91

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△47百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△77百万円、営業外収益が42百万円、営業外費用が△12百万円含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。